

表2. 女性生命表(全56特定疾患)

年齢(x)	観察死亡数(D_x)	観察人数(N_x)	死亡発生率(m_x)	死亡率(q_x)	生存数(l_x)	死亡数(d_x)	${}_nL_x$	T_x	平均余命
0	0	87	0.000%	0.293%	100000	293	498,787	8,383,435	83.8
5	0	436	0.000%	0.043%	99707	43	498,416	7,884,648	79.1
10	0	922	0.000%	0.032%	99,664	31	498,246	7,386,232	74.1
15	1	2205	0.181%	0.044%	99,633	900	496,236	6,887,985	69.1
20	1	4412	0.091%	0.052%	98,732	447	492,568	6,391,749	64.7
25	1	6900	0.059%	0.289%	98,286	284	490,724	5,899,181	60.0
30	2	10465	0.076%	0.382%	98,001	374	489,113	5,408,457	55.2
35	2	13306	0.060%	0.300%	97,627	293	487,448	4,919,344	50.4
40	3	12840	0.093%	0.466%	97,334	454	485,610	4,431,896	45.5
45	8	13508	0.237%	1.178%	96,881	1,141	481,721	3,946,286	40.7
50	13	15007	0.347%	1.718%	95,739	1,645	474,814	3,464,565	36.2
55	24	17593	0.546%	2.694%	94,094	2,535	464,514	2,989,751	31.8
60	20	13511	0.592%	2.919%	91,559	2,673	451,435	2,525,238	27.6
65	10	6757	0.592%	2.920%	88,886	2,595	438,411	2,073,803	23.3
70	21	4736	1.774%	8.522%	86,291	7,354	418,615	1,635,392	19.0
75	0	84	0.000%	8.712%	78,937	6,877	379,075	1,220,777	15.5
80	0	0	0.000%	16.162%	72,060	11,646	333,631	841,701	11.7
85	0	0	0.000%	29.849%	60,414	18,033	259,511	508,070	8.4
90	0	0	0.000%	49.047%	42,381	20,787	159,315	248,559	5.9
95	0	0	0.000%	67.068%	21,594	14,483	67,854	89,244	4.1
100	0	0	0.000%	80.649%	7,111	5,735	18,294	21,390	3.0
105~	0	0	0.000%	100%	1,376	1,376	3,096	3,096	2.3

平成21年簡易生命表(女)から引用

$$s m_x = \frac{4 \cdot s D_x}{s N_x}$$

$$s d_x = \frac{\sum_{k=x}^{x+s} l'_k - l'_{x+s} \cdot 5}{\sum_{k=x}^{x+s} d'_k}$$

$$s q_x = \frac{5 \cdot s m_x}{1 + (5 - s d_x) \times s m_x} \quad (0 \leq x \leq 100)$$

$$x = 105 \text{ のとき } {}_{\infty} q_{105} = 1.00$$

$$l_{x+s} = l_x \cdot (1 - s q_x)$$

$$s d_x = l_x \cdot s q_x$$

$$s L_x = 5 \cdot (l_x - s d_x) + s a_x \cdot s d_x \quad (0 \leq x \leq 100)$$

$$x = 105 \text{ のとき } {}_{\infty} L_{105} = {}_{\infty} d_{105} = {}_{\infty} d'_{105}$$

$$T_x = \sum_{k=x}^{\infty} s L_k$$

$$\text{平均余命} = \frac{T_x}{l_x}$$

表4. 女性全身性エリマトー子ス患者生涯医療費

年齢(x)	発症率(o_x)	発症者数(n_x)	累計発症者数	生存患者数(s_x)	平均医療費(y_x)	年階級別医療費
0	0.30%	300	300	0	3,742,866	214,825,546
5	0.90%	900	1,200	7	3,742,866	3,305,609,519
10	5.30%	5,300	6,500	864	4,282,990	26,337,368,042
15	10.77%	10,770	17,270	6,133	3,847,774	63,554,817,674
20	12.80%	12,800	30,070	16,002	3,453,881	98,724,205,607
25	13.67%	13,670	43,740	28,356	2,978,846	124,768,110,924
30	12.52%	12,520	56,260	41,741	3,130,291	169,294,275,636
35	11.65%	11,650	67,910	53,887	2,869,011	187,632,389,372
40	9.84%	9,840	77,750	65,244	2,938,720	220,027,733,409
45	8.42%	8,420	86,170	74,631	3,135,159	258,695,019,918
50	5.52%	5,520	91,690	81,909	3,265,173	282,936,333,884
55	3.34%	3,340	95,030	85,784	3,062,647	269,307,052,412
60	2.52%	2,520	97,550	86,589	3,248,650	285,351,770,458
65	1.42%	1,420	98,970	86,436	3,598,028	311,776,872,273
70	0.60%	600	99,570	85,261	3,889,634	320,867,636,333
75	0.27%	270	99,840	78,507	4,829,899	365,406,390,548
80	0.11%	110	99,950	4,829,899	4,829,899	322,039,186,428
85	0.05%	50	100,000	60,364	4,829,899	250,682,862,133
90	0.00%	0	100,000	42,381	4,829,899	153,894,640,532
95	0.00%	0	100,000	21,594	4,829,899	65,545,700,258
100	0.00%	0	100,000	7,111	4,829,899	17,671,593,581
105~	0.00%	0	100,000	1,376	4,829,899	14,954,853,355

$$s p_x = l_0 \cdot s q_x$$

$$s^2 x = \sum_{k=0}^x (s p_k - s d_k)$$

$$\text{生涯医療費} = \frac{\sum_{k=0}^{100} (s^2 x_{k+s} \cdot s^2 y_k + s d_k \cdot s d_x + 5 \cdot s^2 y_k) + {}_{\infty} d_{105} \cdot {}_{\infty} y_{105}}{l_0}$$

平成21年簡易生命表(女)から引用

年齢階級別医療費合計
生涯医療費
3,812,989,247,841
38,129,892

IV. 研究班班員名簿

平成20年度
厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業
難治性疾患の医療費構造に関する研究班

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
研究代表者	荻野 美恵子	北里大学医学部神経内科学	講 師
研究分担者	松田 晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教室	教 授
	荒井 耕	一橋大学大学院商学研究科	准 教 授
	渡辺 守	東京医科歯科大学消化器内科	教 授
	川合 眞一	東邦大学医学部内科学講座（大森）膠原病科	教 授
	鈴木 則宏	慶応義塾大学医学部神経内科	教 授
	服部 信孝	順天堂大学附属順天堂医院脳神経内科	教 授
	中島 孝	国立病院機構新潟病院神経内科学	副 院 長
	美原 盤	（財）脳血管研究所附属美原記念病院神経内科	院 長
	伊藤 道哉	東北大学大学院医学系研究科	講 師
	伏見 清秀	東京医科歯科大学大学院医療情報システム学分野	准 教 授
	川島 孝一郎	仙台往診クリニック	院 長
西澤 正豊	新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野	教 授	
事務局	桑原 淳子	北里大学医学部神経内科学 〒228-8520 神奈川県相模原市麻溝台2-1-1 TEL 042-748-9111（内2540） FAX 042-746-8082 e-mail iryokoza@kitasato-u.ac.jp	
経理事務担当者	津田 春恵	北里大学医学部総務課研究振興係 〒228-8555 神奈川県相模原市北里1-15-1 TEL 042-778-8118 FAX 042-778-9262 e-mail harue@kitasato-u.ac.jp	

平成21年度
厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業

難治性疾患の医療費構造に関する研究班

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
研究代表者	荻野 美恵子	北里大学医学部神経内科学	講 師
研究分担者	荒井 耕	一橋大学大学院商学研究科	准 教 授
	渡辺 守	東京医科歯科大学消化器内科	教 授
	川合 眞一	東邦大学医学部内科学講座（大森）膠原病科	教 授
	鈴木 則宏	慶応義塾大学医学部神経内科	教 授
	服部 信孝	順天堂大学附属順天堂医院脳神経内科	教 授
	中島 孝	国立病院機構新潟病院神経内科学	副 院 長
	美原 盤	（財）脳血管研究所附属美原記念病院神経内科	院 長
	伊藤 道哉	東北大学大学院医学系研究科	講 師
	伏見 清秀	東京医科歯科大学大学院医療情報システム学分野	准 教 授
	川島 孝一郎	仙台往診クリニック	院 長
	西澤 正豊	新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野	教 授
	山下 和彦	東京医療保健大学医療保健学部	准 教 授
	渋谷 明隆	北里大学医学部医療安全・管理学	准 教 授
	森實 敏夫	国際医療福祉大学塩谷病院	副 院 長
事務局	桑原 淳子	北里大学医学部神経内科学 〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台2-1-1 TEL 042-748-9111 (内2540) FAX 042-746-8082 e-mail iryokozo@kitasato-u.ac.jp	
経理事務担当者	津田 春恵	北里大学医学部総務課研究振興係 〒252-0329 神奈川県相模原市南区北里1-15-1 TEL 042-778-8118 FAX 042-778-9262 e-mail harue@kitasato-u.ac.jp	

平成22年度
厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業

難治性疾患の医療費構造に関する研究班

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
研究代表者	荻野 美恵子	北里大学医学部神経内科学	講 師
研究分担者	荒井 耕	一橋大学大学院商学研究科	准 教 授
	渡辺 守	東京医科歯科大学消化器内科	教 授
	川合 眞一	東邦大学医学部内科学講座（大森）膠原病科	教 授
	鈴木 則宏	慶応義塾大学医学部神経内科	教 授
	頼高 朝子	順天堂大学附属順天堂医院脳神経内科	准 教 授
	中島 孝	国立病院機構新潟病院神経内科学	副 院 長
	美原 盤	（財）脳血管研究所附属美原記念病院神経内科	院 長
	伊藤 道哉	東北大学大学院医学系研究科	講 師
	伏見 清秀	東京医科歯科大学大学院医療情報システム学分野	教 授
	川島 孝一郎	仙台往診クリニック	院 長
	西澤 正豊	新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野	教 授
	山下 和彦	東京医療保健大学医療保健学部	准 教 授
	渋谷 明隆	北里大学医学部医療安全・管理学	教 授
	森實 敏夫	国際医療福祉大学塩谷病院	副 院 長
小野沢 滋	亀田総合病院地域医療支援部	部 長	
事務局	桑原 淳子	北里大学医学部神経内科学 〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台 2-1-1 TEL 042-748-9111 (内2540) FAX 042-746-8082 e-mail iryokoza@kitasato-u.ac.jp	
経理事務担当者	津田 春恵	北里大学医学部総務課研究振興係 〒252-0374 神奈川県相模原市南区北里 1-15-1 TEL 042-778-8118 FAX 042-778-9262 e-mail harue@kitasato-u.ac.jp	

V. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成20 (2008) 年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
荻野美恵子	神経難病；筋萎縮性側索硬化症 II 在宅医療の対象別諸課題／内科的疾患進行期の医学的管理	日本在宅医学会テキスト編集委員会編	在宅医学	メディカルビュー社	東京	2008	341-348
荻野美恵子	「第XVI緩和ケア」	中島 孝	ALSマニュアル決定版！	日本プランニングセンター	松戸	2009	361-364
Nishizawa M	Overview of recent advances in spinocerebellar ataxias and spastic paraplegias	Takiyama Y & Nishizawa M	Research Signpost	Kerala	India	2008	1～5
西澤正豊	人工呼吸器の中止を巡って	難病と在宅ケア	[ALSマニュアル決定版！]	日本プランニングセンター	千葉	2009	352-358
大木宏一、鈴木則宏	脳梗塞		循環器疾患最新の治療2008-2009	南江堂	東京	2008	439-444
清水利彦、鈴木則宏	片頭痛は脳梗塞のリスクですか？		脳卒中診療 こんなときどうする Q & A	中外医学社	東京	2008	245-248
鈴木則宏	New専門医を目指す ケース・メソッド・アプローチ		神経疾患 第1版	日本医新報社	東京	2008	1 - 345
中島 孝		中島 孝	ALSマニュアル決定版！	日本プランニングセンター	松戸	2009	
川島孝一郎	在宅医療における人間理解	佐藤智	在宅医療の展望	中央法規出版	東京都	2008	121-145
川島孝一郎	こんなになってまで生きることの意味	上野千鶴子 大熊由紀子 大沢真理 神野直彦 副田義也	シリーズケアーその思想と実践 (全6巻) 1巻 ケアという思想	岩波書店	東京都	2008	211-226

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
佐藤志野、野間貴雄、荻野美恵子、上出直人、福田倫也	在宅障害者の訪問リハビリテーションに対するニーズの検討ーリハビリテーション・ケアの果たす役割についてー	北里理学療法学	11	49-52	2008
野間貴雄、佐藤志野、荻野美恵子、上出直人、福田倫也	介護保険サービス利用状況が介護負担感に与える影響の検討	北里理学療法学	11	109-112	2008
山科典子、小出かつら、佐藤三奈希、荻野美恵子、上出直人	sniff nasal inspiratory pressureの妥当性の検討と日本人における予測式の作成ーALS患者に対する新しい呼吸機能評価法の確立にむけてー	北里理学療法学	11	133-136	2008
荻野美恵子	看取りのチームワークはどう構築し、どう活動するか	難病と在宅ケア	13	24-27	2008
荻野美恵子	ALS患者の介護・支援システム	Clinical Neuroscience	26	342-345	2008
荻野美恵子	高齢者神経疾患のトータルマネジメント 身体症状のマネジメント 筋萎縮性側索硬化症 (Amyotrophic lateral sclerosis:ALS)	Modern Physician	28	634-638	2008
荻野美恵子	パーキンソン病の在宅医療	医学のあゆみ	225	400-405	2008
荻野美恵子	日本におけるALS終末期	臨床神経学	48	973-975	2008
荻野美恵子	神経内科治療と倫理的配慮	神経治療学	25	669-673	2008
荒井耕	日本病院界における原価計算の戦後史：経営環境変化への適応	産業経理	68(3)	102-111	2008
荒井耕	手術領域における外部RVU値を活用した原価計算の適切性の検証：等価係数体系の低い病院間相似性	会計プロGRESS	9	1 - 12	2008
荒井耕	現行診療報酬制度における手術種類区分の妥当性の検証：手術サービス単位の同質性確保の必要性	会計	174(2)	188-203	2008
荒井耕	手術領域における原価・価格関係の実証分析：RCC法の妥当性と採算性の検証	原価計算研究	32(1)	64-74	2008
荒井耕	現行診療報酬制度における検査種類区分の妥当性の検証：検査サービス単位の同質性確保の必要性	管理会計学	16(1)	61-70	2008
荒井耕	中国の病院における財務業績管理システムの現状と特徴	企業会計	60(3)	86-91	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Koinuma K, Ogata T, <u>Ito M</u>	Economic burden and associated factors with the feeling of burden of cancer patients	Society for Medical Decision Making Europe Program and Abstracts		106	2008
Koinuma K, <u>Ito M</u> , Ogata T, Monma Y	Economic significance of the postoperative follow-up for colorectal cancer	67th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association Proceedings		209-210	2008
濃沼信夫、菱川良夫、 <u>伊藤道哉</u> 、尾形倫明、三澤仁平、金子さゆり、門馬靖武	放射線治療における患者自己負担の実態と経済的負担感を増加させる要因について	日癌治	43(2)	268	2008
<u>伊藤道哉</u> 、濃沼信夫	保持されにくい「尊厳」構成要因に関する研究	病院管理	45 Suppl	104	2008
<u>伊藤道哉</u> 、濃沼信夫、尾形倫明、門馬靖武	大腸癌術後フォローアップの医療経済的な意義について (Economic significance of the postoperative follow-up for colorectal cancer)	日本癌学会総会記事	67回	209-210	2008
金子さゆり、濃沼信夫、 <u>伊藤道哉</u>	病棟勤務看護師の勤務状況とエラー・ニアミスのリスク要因	日本看護管理学会誌	12(1)	5-15	2008
Takahashi T, Kikuchi S, Katada S, Nagai Y, <u>Nishizawa M</u> , Onodera O	Soluble polyglutamine oligomers formed prior to inclusion body formation are cytotoxic	Hum Mol Genet	17 (3)	345-356	2008
Ikeuchi T, Kakita A, Shiga A, Kasuga K, Kaneko H, Tan C-F, Idezuka J, Wakabayashi K, Onodera O, Iwatsubo T, <u>Nishizawa M</u> , Takahashi H, Ishikawa A	Patients homozygous and heterozygous for <i>SNCA</i> duplication in a family with parkinsonism and dementia	Arch Neurol	65(4)	514-519	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ishihara T, Ozawa T, Igarashi S, Kitsukawa Y, Takagi M, Hirose M, Tokutake T, Tanaka K, <u>Nishizawa M</u>	Atypical parkinsonism in distal myopathy with rimmed vacuoles	Mov Disord	23(6)	912-915	2008
Yokoseki A, Shiga A, Tan C-F, Tagawa A, Kaneko H, Koyama A, Eguchi H, Tsujino A, Ikeuchi T, Kakita A, Okamoto K, <u>Nishizawa M</u> , Takahashi H, Onodera O	<i>TDP-43</i> mutation in familial amyotrophic lateral sclerosis	Ann Neurol	63(4)	538-542	2008
Tani T, Tanaka K, Idezuka J, <u>Nishizawa M</u>	Regulatory T cells in paraneoplastic neurological syndromes	J Neuroimmunol	196(1-2)	166-169	2008
Nishihira Y, Tan C-F, Onodera O, Toyoshima Y, Yamada M, Morita T, <u>Nishizawa M</u> , Kakita A, Takahashi H	Sporadic amyotrophic lateral sclerosis: two pathological patterns shown by analysis of distribution of TDP-43-immunoreactive neuronal and glial cytoplasmic inclusions	Acta Neuropathol	116(2)	169-182	2008
Hara K, Shiga A, Nozaki H, Mitsui J, Takahashi Y, Ishiguro H, Yomono H, Kurisaki H, Goto J, Ikeuchi T, Tsuji S, <u>Nishizawa M</u> , Onodera O	Total deletion and a missense mutation of ITPR1 in Japanese SCA15 families	Neurology	71(8)	547-551	2008
Shimohata T, Ozawa T, Nakayama H, Tomita M, Shinoda H, <u>Nishizawa M</u>	Frequency of nocturnal sudden death in patients with multiple system atrophy	J Neurol	255(10)	1483-1485	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Orimo S, Uchihara T, Nakamura A, Mori F, Ikeuchi T, Onodera O, <u>Nishizawa M</u> , Ishikawa A, Kakita A, Wakabayashi K, Takahashi H	Cardiac sympathetic denervation in Parkinson's disease linked to <i>SNCA</i> duplication	Acta Neuropathol	2008, Aug 28	Epub ahead of print, PMID: 18751989	2008
Takahashi Y, Seki N, Ishiura H, Mitsui J, Matsukawa T, Kishino A, Onodera O, Aoki M, Shimozawa N, Murayama S, Itoyama Y, Suzuki Y, Sobue G, <u>Nishizawa M</u> , Goto J, Tsuji S	Development of a high-throughput microarray-based resequencing system for neurological disorders and its application to molecular genetics of amyotrophic lateral sclerosis	Arch Neurol	65(10)	1326-1332	2008
Nishihira Y, Tan C-F, Hoshi Y, Iwanaga K, Yamada M, Kawachi I, Tsujihata M, Hozumi I, Morita T, Onodera O, <u>Nishizawa M</u> , Kakita A, Takahashi H	Sporadic amyotrophic lateral sclerosis of long duration is associated with relatively mild TDP-43 pathology	Acta Neuropathol	2008, Oct 16	Epub ahead of print, PMID: 18923836	2008
Takagi M, Tanaka K, Suzuki T, Miki A, <u>Nishizawa M</u> , Abe H	Anti-aquaporin-4 antibody-positive optic neuritis	Acta Ophthalmol Scand	2008, Nov 18	Epub ahead of print, PMID: 19021599	2008
Terajima K, Matsuzawa H, Shimohata T, Akazawa K, <u>Nishizawa M</u> , Nakada T	tract-by-tract morphometric and diffusivity analyses in vivo of spinocerebellar degeneration	J Neuroimaging	2008, Oct 23	Epub ahead of print, PMID: 19021844	2008
西澤正豊	脊髄小脳変性症の全体像と分類	難病と在宅ケア	14(3)	46-48	2008
西澤正豊	スモン・水俣病	Modern Physician	28(5)	661-663	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
横関明男、譚春鳳、田川朝子、岡本幸市、西澤正豊、高橋均、小野寺理	TAR DNA binding protein-43 遺伝子変異を伴った筋萎縮性側索硬化症	Dementia Japan	22(1)	60-67	2008
下畑享良、西澤正豊	脊髄小脳変性症の合併症対策～その多くは対症療法によって改善が望める～	難病と在宅ケア	14(4)	14(4)	2008
下畑享良、西澤正豊	多系統萎縮症の睡眠呼吸障害と突然死	医学のあゆみ	226(8)	586-587	2008
譚春鳳、横関明男、小野寺理、西澤正豊、高橋均	家族性ALSとTDP-43	神経内科	68(6)	558-564	2008
中島孝	難病におけるQOL研究の展開-QOL研究班の活動史とその意義	保健の科学	51 (2)	83-92	2009
中島孝	ALSケアをめぐる問題—倫理から緩和ケアへ	臨床神経学	48(11)	958-960	2008
中島孝	神経疾患における廃用性浮腫	Vascular Lab	5(6)	516-519	2008
中島孝	患者の病態にあわせて適切なパリエーションを選択—ガイドラインの作成の実際の適応	難病と在宅ケア	Vol 14(2)	9-12	2008
宮下光令、秋山美紀、落合亮太、萩原章子、中島孝、福原俊一、大生定義	神経内科的疾患患者の在宅介護者に対する「個別化された重みつきQOL尺度」SEIQoL-DWの測定	厚生の指標	55(1)	9-14	2008
中島孝	QOLと緩和ケアの奪還	現代思想	Vol36:2	148-173	2008
中島孝、伊藤博明	緩和ケアとは本来何なのか？生きるためのケアにむけて	難病と在宅ケア	Vol13(10)	9-13	2008
Nemoto Y, Kanai T, Tohda S, Totsuka T, Okamoto R, Tsuchiya K, Nakamura T, Sakamoto N, Fukuda T, Miura O, Yagita H, <u>Watanabe M</u>	Negative feedback regulation of colitogenic CD4+ T cells by increased granulopoiesis.	Inflamm Bowel Dis.	14	1491-1503	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Fujii F, Kanai T, Tomita T, Nemoto Y, Totsuka T, Sakamoto N, Nakamura T, Tsuchiya K, Okamoto R, Watanabe M	FTY720 suppresses the development of colitis in lymphoid-null mice by modulating the trafficking of colitogenic CD4+ T cells in bone marrow.	Eur J Immunol.	38	3290-3303	2008
Araki A, Tsuchiya K, Okada E, Suzuki S, Oshima S, Okamoto R, Kanai T, Watanabe M	Single-operator method for double-balloon endoscopy: a pilot study.	Endoscopy.	40	936-938	2008
Sawada T, Nishiyama C, Kishi T, Sasazuki T, Komazawa-Sakon S, Xue X, Piao JH, Ogata H, Nakayama J, Taki T, Hayashi Y, Watanabe M, Yagita H, Okumura K, Nakano H	Fusion of One twenty-two to BSAC(Basic, SAP, and coiled-coil domain)results in aberrant upregulation of transcriptional activity.	J Biol Chem.	283	26820-26828	2008
Tomita T, Kanai T, Nemoto Y, Fujii T, Okamoto R, Tsuchiya K, Nakamura T, Sakamoto N, Totsuka T, Watanabe M	Colitogenic CD4+ effector-memory T cells actively recirculate in chronic colitic mice.	Inflamm Bowel Dis.	14	1630-1640	2008
Yoshioka A, Okamoto R, Oshima S, Akiyama J, Tsuchiya K, Nakamura T, Kanai T, Watanabe M	Flagellin stimulation suppresses IL-7 secretion of intestinal epithelial cells.	Cytokine.	44	57-64	2008
Tomita T, Kanai T, Fujii T, Nemoto Y, Okamoto R, Tsuchiya K, Totsuka T, Sakamoto N, Watanabe M	Continuous generation of colitogenic CD4+ T cells in persistent colitis.	Eur J Immunol.	38	1264-1274	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Hino K, Tsuchiya K, Fukao T, Kiga K, Okamoto R, Kanai T, <u>Watanabe M</u>	Inducible expression of microRNA-194 is regulated by HNF-1 during intestinal epithelial cell differentiation.	RNA.	14	1433-1442	2008
Tomita T, Kanai T, Fujii T, Nemoto Y, Okamoto R, Tsuchiya K, Totsuka T, Sakamoto N, Akira S, <u>Watanabe M</u>	MyD88-dependent pathway in T cells directly modulates the expansion and survival of colitogenic CD4+ T cells in chronic colitis.	J Immunol.	180	5291-5299	2008
Totsuka T, Kanai T, Nemoto Y, Tomita T, Okamoto R, Tsuchiya K, Sakamoto N, <u>Watanabe M</u>	Immunosenescent colitogenic CD4+ T cells convert to regulatory cells to suppress colitis.	Eur J Immunol.	38	1275-1286	2008
Aragaki M, Tsuchiya K, Okamoto R, Yoshioka S, Nakamura T, Sakamoto N, Kanai T, <u>Watanabe M</u>	Proteasomal degradation of Atoh1 by aberrant Wnt signaling maintains the undifferentiated state of colon cancer.	Biochem Biophys Res Commun.	368	923-929	2008
Tomita T, Kanai T, Nemoto Y, Totsuka T, Okamoto R, Tsuchiya K, Sakamoto N, <u>Watanabe M</u>	Systemic, but not intestinal, IL-7 is essential for the persistence of chronic colitis.	J Immunol.	180	383-390	2008
Ito Y, Kanai T, Totsuka T, Okamoto R, Tsuchiya K, Nemoto Y, Yoshioka A, Tomita T, Nagaishi T, Sakamoto N, Sakanishi T, Okumura K, Yagita H, <u>Watanabe M</u>	Blockade of NKG2D signaling prevents the development of murine CD4+ T cell-mediated colitis.	Am J Physiol GI & Liver.	394	G199-207	2008

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kawai S, Tanaka K, Ohno I, Utsunomiya K, Seino Y	Safety of long-term tacrolimus therapy for rheumatoid arthritis: an open-label uncontrolled study in non-elderly patients.	<i>Mod Rheumatol.</i>	18(4)	345-353	2008
Kitahara K, Takagi K, Kusunoki Y, Nishio S, Nozaki T, Inomata H, Takei M, Sawada S, Kawai S	Clinical value of second and third generation assays of anti-cyclic citrullinated peptide antibodies in rheumatoid arthritis.	<i>Ann Rheum Dis.</i>	67(7)	1059-1060	2008
Akimoto K, Kusunoki Y, Nishio S, Takagi K, Kawai S	Safety profile of tacrolimus in patients with rheumatoid arthritis.	<i>Clin Rheumatol.</i>	27(11)	1393-1397	2008
Kusunoki N, Yamazaki R, Kawai S	Pro-apoptotic effect of nonsteroidal anti-inflammatory drugs on synovial fibroblasts.	<i>Mod Rheumatol.</i>	18(6)	542-551	2008
Iizuka T, Sakai F, Monzen T, Yoshii S, Iigaya M, Suzuki K, Lynch DR, Suzuki N, Hata T, Dalmau J	Anti-NMDA receptor encephalitis in Japan. Long-term outcome without tumor removal.	<i>Neurology.</i>	70	504-511	2008 (2007 Sep 26; [Epub ahead of print])
Seki M, Suzuki S, Iizuka T, Shimizu T, Nihei Y, Suzuki N, Dalmau J	Neurological response to early removal of ovarian teratoma in anti-NMDAR encephalitis.	<i>J Neurol Neurosurg Psychiatry</i> 79	79	324-326	2008
M Tomita, T Osada, I Schiszler, Y Tomita, M Unekawa, H Toriumi, N Tanahashi, N Suzuki	Automated method for tracking vast numbers of FITC-labeled RBCs in microvessels of rat brain in vivo using a high-speed confocal microscope system.	<i>Microcirculation</i>	15	163-174	2008 DOI: 10.1080/10739680701567089

平成20（2008）年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Utsukizawa K, Nagane Y, Suzuki S, <u>Suzuki N</u>	Monitoring treatment with cyclosporine microemulsion in myasthenia gravis.	Eur J Neurol 2008			DOI 10.1111/j. 1468- 1331,200 8.02130.x
Nishimoto Y, Yamashita T, Hideyama T, Tsuji S, <u>Suzuki N</u> , Kwak S	Determination of editors at the novel A-to-I editing positions.	Neurosci Res	61	201-206	2008
Unekawa M, Tomita M, Osada T, Toriumi H, Tatarishvili J, <u>Suzuki N</u>	Frequency distribution function of red blood cell velocities in single capillaries of the rat cerebral cortex using intravital laser-scanning confocal microscopy with high-speed camera.	Asian Biomed	2	203-218	2008
Ito D, Fujisawa T, Iida H, <u>Suzuki N</u>	Characterization of seipin/BSCL2, a protein associated with spastic paraplegia 17	Neurobiol Dis	31	366-277	2008
Suzuki S, Satoh T, Otomo M, Hirayama Y, Sato H, Kawai M, Ishihara T, <u>Suzuki N</u> , Kuwana M	Clinical utility of anti-signal recognition particle antibody in the differential diagnosis of myopathies.	Rheumatology	47	1539-1542	2008
Ohira M, Suzuki S, Takahashi S, Takahashi K, <u>Suzuki N</u>	MR Imaging can predict the development of nonalcoholic Wernicke encephalopathy	Am J Neuroradiol	29E	81-82	2008
22. Hattori H, Suzuki N	Dysferitinopathy: Clinical aspect in India	Neuro India	56	386-387	2008
Suzuki S, <u>Suzuki N</u> , Kuwana M	Comment on: Clinical utility of anti-signal recognition particle antibody in the differential diagnosis of myopathies:reply	Rheumatology	48	90-91	2008

平成21(2009)年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編 集者名	書籍名	出版社 名	出版 地	出版年	ページ
荻野美恵子	神経難病患者への対応	小野沢滋 編 著	在宅医療の技とこ ころ 在宅栄養 管理—経口から胃 瘻・経静脈栄養ま で—	南山堂	東京	2010	182-189
荻野美恵子	神経難病疾患の医療費 構造解析の問題点	鈴木則宏、祖 父江元、荒木 信夫、宇川義 一、川原信隆	Annual Review 神経 2010	中外医 学社	東京	2010	65-70
荻野美恵子	慢性疾患とは	日本社会福祉 士会・日本医 療社会事業協 会	改訂保健医療ソー シャルワーク実践 2	中央法 規出版	東京	2009	171-176
荻野美恵子	パーキンソン病におけ る公的制度には何があ るの？また在宅医療つ て必要なの？	服部信孝	いきなり名医！ パーキンソン病 Q&A.	日本医 事新報 者	東京	2009	137-139
荻野美恵子	M蛋白に伴うニューロ パチー	鈴木則宏	神経疾患・診療ガ イドライン—最新 の診療指針—	総合医 学社	東京	2009	222-224
荻野美恵子	侵襲的人工呼吸療法を 選択しない方の緩和ケ ア	中島孝	ALSマニュアル決 定版！	日本プ ランニ ングセ ンター	東京	2009	361-364
荒井 耕	すべての章	単著	病院原価計算：医 療制度適応への経 営変革	中央経 済社	東京	2009	
伊藤道哉	人工呼吸器ケアに関す る倫理	川口有美子、 小長谷百絵	在宅人工呼吸器ポ ケットマニュアル	医歯薬 出版	東京	2009	169-192 (総 ページ 数201)
西澤正豊	欧米における脊髄小脳 変性症の標準的治療法 は	岡本幸市、棚 橋紀夫、水澤 英洋	「EBM神経疾患 の治療2008・ 2009」	中外医 学社	東京	2009	311-313
西澤正豊	進行性核上性麻痺	鈴木則宏	「神経疾患・診療 ガイドライン-最 新の診療指針-」	総合医 学社	東京	2009	85-87
中島孝、小澤哲夫	遺伝子診断	衛藤義勝編	ポンペ病（糖原病 Ⅱ型）	診断と 治療社		2009	96-100
川合眞一	看護のための最新医学 講座[第2版]—第11巻免 疫・アレルギー疾患—	監修：日野原重 明・井村裕 夫、監修協力： 岩井郁子・北 村 聖、編集： 山本一彦	免疫系に対する治 療法	中山書 店	東京	2009	45-61
川合眞一	アレルギー・膠原病系 症状と検査異常．腰痛．	編集：富野康日 己	チャート内科診断 学	中外医 学社	東京	2009	525-527

平成21(2009)年度 研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編 集者名	書籍名	出版社 名	出版 地	出版年	ページ
川合眞一	フェルティ症候群	山口 徹, 北 原光夫, 福井 次矢 総編集	今日の治療指針 2009年版	医学書 院	東京	2009	619-620
鈴木則宏	頭痛	山口 徹, 北 原光夫, 福井 次矢 (編)	2009今日の治療 指針ー私はこう治 療しているー	医学書 院	東京	2009	703-706
柴田 護、鈴木則宏	緊急時の神経症候とそ の対処法	小林祥泰、水 澤英洋 (編)	神経疾患 最新の 治療2009-2011	南江堂	東京	2009	33-36
星野晴彦	エッセンス 脳血管障 害の画像診断	鈴木則宏 (監 修)	エッセンス 脳血 管障害の画像診断	メディ カルレ ビュー 社	大阪	2009	1-61
鈴木則宏	神経疾患・診療ガイド ラインー最新の診療指 針ー	鈴木則宏 (編 集)	神経疾患・診療ガ イドラインー最新 の診療指針ー	総合医 学社	東京	2009	1-330
鈴木則宏	神経内科 ゴールデン ハンドブック	鈴木則宏 (編 集)	神経内科 ゴール デンハンドブック	南江堂	東京	2009	1-363
鈴木則宏	エンタカポン (コムタ ン) はどのような場合 に使用するのがよい か、またその使い方を 説明してください	水野美邦 (編 集)	パーキンソン病診 療Q&A 110	中外医 学社	東京	2009	175-176
鈴木則宏	頭痛診療ハンドブック	鈴木則宏 (編 集)	頭痛診療ハンド ブック	中外医 学社	東京	2009	1-261
頼高朝子	パーキンソン病におけ る睡眠障害への対応 は?	服部信孝	いきなり名医! パーキンソン病 Q&A	日本医 事新報 社	東京	2009	118-121
頼高朝子、服部信孝	パーキンソン病治療薬	政田幹夫、佐 藤博、佐々木 均	新薬展望	医薬 ジャー ナル	大阪	2009	324-327
服部信孝編	ここまでわかったパー キンソン病研究	服部信孝	別冊「医学のあ ゆみ」	医歯薬 出版株 式会社	東京	2009	
服部信孝	神経免疫疾患の診断・ 治療最前線	服部信孝	BIO Clinica	メディ カルレ ビュー 社	東京	2009	Vo24, No9,776 -777
服部信孝	パーキンソン病のup to date.	服部信孝	東京内科学会誌		東京	2009	Vo25, No1, 54- 55
服部信孝	パーキンソン病診療 Q&A	水野美邦編集	パーキンソン病診 療Q&A	中外医 学社	東京	2009	72-76
服部信孝	いきなり名医!パーキ ンソン病Q&A	服部信孝編	いきなり名医! パーキンソン病 Q&A	日本医 事新報 社	東京	2009	
服部信孝	血液・造血器疾患 神 経疾患	小川聡 総編 集	内科学書Vol.6 「大脳基底核の変 性疾患」「薬物中 毒」	中山書 店株式 会社	東京	2009	Vo6, 305,372- 373

平成21(2009)年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
荻野美恵子	神経難病の在宅医療	臨床神経学	49 (11)	870-871	2009
宮川沙織, 荻野美恵子, 飯ヶ谷美峰, 荻野裕, 坂井文彦	筋萎縮性側索硬化症/運動ニューロン病における陽・陰圧体外式人工呼吸器の有用性	神経治療学	26 (5)	607-612	2009
山科典子, 小出かつら, 佐藤三奈希, 上出直人, 荻野美恵子, 高平尚伸	SNIP(sniff nasal inspiratory pressure)の測定再現性および妥当性の検討	理学療法科学	24 (1)	25-29	2009
荻野美恵子	難病と向き合う医療 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	レジデントノート	11 (5)	738-742	2009
荻野美恵子	中枢神経疾患の救急 ALS	Clinical Neuroscience	27	917-920	2009
Kamide N., Ogino M., Yamashina N., Fukuda M.	Sniff nasal inspiratory pressure in healthy Japanese subjects: mean values and lower limits of normal	Respiration	77	58-62	2009
荒井 耕	実際消費資源額と技術力評価額の一致度と政府による価格設定: 経済合理思考と専門職評価思考のバランス	管理会計学	17(1)	25-37	2009
岡田幸彦・荒井耕	わが国サービス原価管理論の展望	原価計算研究	33	54-63	2009
荒井 耕	日本医療界における診療プロトコルマネジメントの展開: 医療サービス原価企画への進化	会計	176(3)	92-107	2009
Kuwabara, H., Fushimi, K.	The impact of new payment system with case-mix measurement on hospital practice behavior for breast cancer patients in Japan	Health Policy	92	62-72	2009
Sato, E., Fushimi, K.	What has influenced patient health-care expenditures in Japan?: Variables of age, death length of stay and medical care	Health Economics	18	843-853	2009
Yamamoto, K., Fushimi, K.	Travel of patients to distant hospitals for elective surgery in Japan: A cross-sectional analysis of a nationally representative sample	Surgery Today	39	758-763	2009

平成21(2009)年度 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
山下 和彦, 今泉 一哉, 岩上 優美, 佐藤 満, 中島 佐和子, 井野 秀一, 小山 裕徳, 川澄 正史, 伊福部 達	高齢者の定量的下肢筋力評価のための膝間力計測器の開発	電気学会論文誌	vol. 130 / No. 2	267-274	2010
野本洋平, 山下和彦, 大矢哲也, 小山裕徳, 川澄正史	主成分分析を用いた高齢者と若年者の下肢機能の評価手法の開発	電気学会論文誌	vol. 130 / No. 3	370-375	2010
<u>Kazuhiko Yamashita</u> , Yumi Iwakami, Kazuya Imaizumi Hirohide Komatsu, Hiroshi Honda, Masaru Komino, Toshihiko Obayashi, Yuhei Saito, Hiroshi Yasumura, Ryosuke Hosaka, Shigenobu Shimada, Shuichi Ino, Toru Ifukube, Takashi Okubo	Development of Computerized Surgical Instrument by the ceramic RFID Tag	World Congress 2009, Medical Physics and Biomedical Engineering			2009
Shuichi Ino, Mitsuru Sato, <u>Kazuhiko Yamashita</u> , Takashi Izumi.	A Preliminary Study of a Power Assist System for Toe Exercise using a Metal Hydride Actuator	World Congress 2009, Medical Physics and Biomedical Engineering			2009
Sawako Nakajima, Shuichi Ino, <u>Kazuhiko Yamashita</u> , Mitsuru Sato, A Kimura	Evaluation of Mixed Reality Sickness by Changing the Time Lag between Real Images and Virtual Images in an Advanced Driver Assistance System	World Congress 2009, Medical Physics and Biomedical Engineering			2009
Shuichi Ino, Minako Hosono, Mitsuru Sato, Sawako Nakajima, <u>Kazuhiko Yamashita</u> , Takashi Izumi	A Soft Metal Hydride Actuator Using LaNi5 Alloy and a Laminate Film Bellows	IEEE International Conference on Industrial Technology			2009